

2015年11月18日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

## 第43回 藤原 進一郎 氏

(2000年シドニーパラリンピック日本選手団長、極東・南太平洋障害者スポーツ連盟競技委員長など)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は、パラリンピックアスリートや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスを当て、今回は藤原進一郎さんにご登場いただきます。

藤原さんは、日本最初の身体障害者スポーツセンター運営の基を築かれるとともに、全国各地に施設運営の手本を示し、日本の障害者スポーツの発展にご尽力されました。インタビュアーには、山本浩氏をお迎えし、障害者スポーツや障害者を取り巻く日本社会のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

## 『福祉』から『スポーツ』へ、舵をきった男

## 藤原 進一郎 氏

【公開日時】2015年11月18日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

【笹川スポーツ財団 歴史の検証】で検索ください

【主な内容】「真っ白な壁に好きな絵を」全国初の身体障害者スポーツセンターで手腕/パラリンピックでも「勝つ！」競技スポーツの意識で大会へ/スポーツ基本法の施行と現場の反応/スポーツ庁始動へ向け 現場は積極的な働きかけを/2020年に期待される改革とは など

&lt;プロフィール&gt;

## 藤原 進一郎 (ふじわら しんいちろう) 氏

1932年岡山県出身。1949年岡山大学教育学部を卒業後、中学校教諭を経て、1974年から大阪市身体障害者スポーツセンター(現:大阪市長居障がい者スポーツセンター)指導課長に就任。その後、日本障害者スポーツ協会技術委員長や極東・南太平洋障害者スポーツ連盟競技委員長を歴任。2000年シドニーパラリンピックでは日本選手団長を務めた。主な著書に「身体障害者とスポーツ指導」(大阪身体障害者スポーツ振興会)などがある。

## 山本 浩 (やまもと ひろし) 氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

&lt;スポーツ歴史の検証&gt;概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)

TEL:03-5545-3301 info@ssf.or.jp